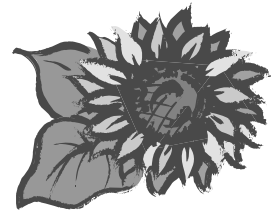


会 報

ひまわり

47号

ひまわりの会



— 発行人 —
会長 北爪保枝
— 事務局 —
前橋市堀之下町 16 番 1
財群馬県健康づくり財団内
電話 027 (269) 7811

第47号の発刊によせて



会 長
北爪 保枝

ひまわりの会の皆さま、お元気で過ごすご
のことと思います。

立春も過ぎたというのに寒い日が続いていま
す。

昨年は変化の多い大変な年でした。年末に
政権が交代し自由民主党に変わりました。今
度こそ安定した政策を願いたいです。

年が改まり、1月にはアルジェリア人質事
件で邦人の犠牲者。本当に痛ましい事件でし
た。

さて、私たち「ひまわりの会」では会の創
立当初から、がんの「早期発見」「早期治療」
そして検診の重要性を提唱し続けてまいりま
した。その功績が認められ、平成24年度の「保

健事業等功労者知事表彰健康増進(がん予防・
がん対策推進)部門」を受賞致しました。表
彰式は11月19日に群馬県庁7階正庁の間にお
いて行われ、会の代表として私が賞状をいた
だいてまいりました。

また、12月には「ひまわりの会」の活動の
一環として「がん向き合う作品展」に参加
しました。予想以上の作品の多様さに、決し
てがんに負けないで向き合って生きていると
いった心情が伝わった、力強い作品展でした。

そして平成25年、群馬県内で初開催となる
リレー・フォー・ライフが10月12日、13日の
2日間、前橋市で行われます。「ひまわりの
会」でも、会員それぞれの体力に応じて、無
理のない形で参加できたらと考えております
ので、ご協力をお願いします。

毎月の定例会ですが、まだ一度も参加され
ていない方も先ず一歩外に踏み出してしま
しょう。都合のよい時、気軽にお出かけ下さ
い。

春の足音もすぐそこまで聞こえてきていま
す。会員の皆さま、今年もご協力よろしくお
願います。

ひまわりの会

会長退任のご挨拶

一柳 一男



去る平成二十四年五月二十四日ひまわりの会総会に於いて役員改選が行われ、私は任期満了に伴い退任いたしました。そして、新会長には北爪保枝さんが就任されました。ひまわりの会は、御承知のように昭和五十五年に創立されました。初代会長は故塚本脩治さんでした。塚本会長の熱心な行動とその人格により、ひまわりの会は群馬県におけるがん征圧拠点団体として評価され、二十二年間にわたり会長として活動されました。

その後を私が引き受け五期十年活動してまいりました。同時に全国よろこびの会の副会長としての活動もすることになりました。最近十年間の間には国のがんに対する考え方も

進んできました。平成十九年政府の方針により、がん対策基本法が国会を通過しました。このがん対策基本法にはがん患者のおかれている状況に応じ、本人の意向を十分尊重してがんの治療方法が選択されるようがん治療を提供する体制の整備がなされることが明記され、がん患者に対する対応が確立されました。この法律の施行に伴い、群馬県内においても対応が図られてきました。群馬大学大学院の神田清子教授の呼び掛けに応じ県内十一団体の患者の家族会の賛同を得て、群馬県がん患者団体連絡協議会が三月二十四日に発足し、私も微力ながら協力することになり、副会長として会の発展に協力してまいりました。

私がひまわりの会の会長としてこの十年間に記念すべきことが二つありました。一つは、平成二十年十月二十日県庁の正庁の間において塚本脩治さんが、長年の活動に対して財団法人群馬県健康づくり財団（鶴谷嘉武理事長・当時）より表彰状を授与されたことです。この表彰は財団の当時課長だった下村課長（現下村部長）の推挙もあって実現しました。そして翌年ひまわりの会の新年会で受賞の報告をしました。参会者の皆さんからお祝いの言

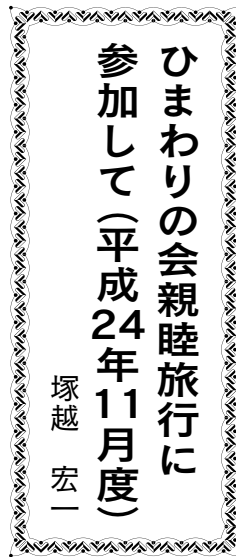
葉をおくられ満面に笑みをうかべておりました。塚本顧問から「一柳会長さんこれまで配慮願って私の後の会長を引き受けてもらって本当に私はよかったです」と言われ、私も、私の配慮でこんなに喜んで戴いてと思いい、ただ頭を下げるばかりでした。

二つ目は平成二十三年九月二日鹿児島県で開催されたがん征圧全国大会において私共ひまわりの会が永年にわたって広くがん征圧運動に貢献した功績として、日本対がん協会賞を受賞したことです。鹿児島行きは大変強行軍でしたが、私が出席し受賞してまいりました。

私共ひまわりの会も設立後三十二年経過しました。当初は会則の（会員）第三条には「ガン」と表記されずに、胃腸病疾患並びに婦人科疾患と表現されておりました。時代の流れと進歩を感じる次第です。現在のがんに対する考え方も大きく変わってきました。私共ひまわりの会のがんに対する考え、早期発見、早期治療の運動を広く進めるべく私も顧問として北爪新会長のもと一層の協力をしていきたいと思ひます。

幸ひひまわりの会は東毛地区、前橋地区、

西毛地区と三支部の構想も確立しました。月に一度の茶話会も定着しました。こうした行事ができるのも健康づくり財団の御指導・御協力があつてこそ成り立っていると思います。最後になりましたが財団の皆さまには心から感謝申し上げ遅くなりましたが、退任の挨拶と致します。



ひまわりの会に根岸様に紹介されて入会し大変感謝しております。

一柳前会長さんの自らの著書をいつも座右の友とさせて戴いていております。現会長の北爪様の穏やかなお人柄、そして会員皆様方の親戚同士の様な集いと会話、こんなにも明るい人たちが、「がん経験者として」「患者支援者として」真剣に取り組んでいる姿は私の思っていたイメージと何処でどう結び付けるのか? 「がんの認識」「健康の有難さ」私は、一層頑張ろうと思う今日この頃です。



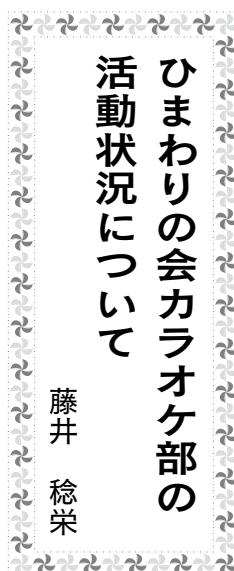
草津の紅葉に囲まれて。右から2人目が塚越さん。

又、素晴らしい仲間と「紅葉と名湯草津への旅」：これまた感激でした。

晩秋の青空の下に絵の具で描けない真紅の楓の美しさ、金色の樹林、そして絵画の主役白樺の香り、舞い上がる落ち葉、私たちを両手で迎えてくれました。

そんな景色に酔う中に、ハイお菓子!、ハイ饅頭!、お漬物よ!とバスの中では温かい心が飛んできました。

ホテルでは、気持ちのいい湯に大満足、帰路で天明3年浅間山大噴火災害で亡くなられた村人と、復興に尽力された93人の御霊に鎌原観音堂で手合わせる事が出来ました。



がん患者会「ひまわりの会カラオケ部」は、平成21年1月15日、前橋カラオケパーク三河町店においてカラオケ愛好者が集い、歌を通してストレス解消でがんを克服するためにスタートしました。

発足当初は、7名の参加者(高橋専蔵・藤井稔栄・青木玲子・林敏彦・根岸利光・田中安蔵・青木睦子)を中心に活動をしてきました。

また、年6回の定例会(交流サロン)として続けております。



創立 5 年、カラオケ部。これからも歌って、話して、交流を深めます。左から 2 人目が藤井副会長

平成 21 年 7 月に、予算化されて助成金が交付され、活動費等に活用しています。

カラオケメンバーも親身になって語り合える人ばかりでとにかく歌を通して親睦を深めております。

平成 23 年 8 月にはカラオケ部創立 3 周年を記念して草津温泉 米山館にて 1 泊し、お互いに交流を深めました。

宿泊参加者 5 名（一柳一男・木村茂・藤井稔栄・根岸利光・林敏彦）

平成 24 年でカラオケ部会を結成し、創立 5 年を迎えましたが、12 月には、前橋のカラオケ、シダックス上小出町クラブにおいて開催し、新しい方が 2 名加わり参加者 7 名（藤井稔栄・青木玲子・林敏彦・根岸利光・田中安蔵・一柳一男・高橋浩司）

特に、初めて参加した高橋浩司氏は歌うことによって体に自信が付き健康に良いので継続していききたいと喜んでいました。

ひまわりの会カラオケ部では、平成 25 年度もカラオケを通して、日頃の自分たちの悩み、苦しみ、いろんな意見や問題等をお互いにカラオケを中心に何でも話し合える交流サロンとして継続していききたいと思います。

春よ来い

齊藤 文子

2 月 1 日に亡くなった東毛支部の今井忠夫さんの告別式に参列をさせてもらいました。立春の日でした。

ひまわりの会に籍を置いていたのは 3 年ばかりだったのではないだろうか。普通に声の出せなかった今井さんとは挨拶をする程度でしたが、いつの間にか定例会にも顔を出さなくなったのは、闘病の為に聞いていました。幾つものがんサロンに出向き、随分とがんの勉強をしていたとのことでした。

初孫も生まれたばかりだというのに、本当に無念だったでしょう。幸福を祈ります。

お焼香を終えて外に出ると、大粒の雨が降り出してきました。間もなくしてその強い雨足が遠のき、雲の切れ間から青い空が覗き、薄日までもが射してきましたのです。

夕立のようなあの通り雨は、ひよっとして今井さんの涙雨だったのでしょうか。

昨年暮れには新里の今泉行雄さんが亡くなったばかりです。まだまだ元気だった今泉

さんの姿が思い出され、携帯の名前を消去する時、思わず居たたまれない気持ちになりました。

支部にさみしいことが続いたある日の新聞に、ほっとするようなうれしい記事が載っていました。

新薬開発の記事です。「ガン次世代薬・国産拠点」。

大きな見出しの文字が紙面の上で踊っています。

ガン細胞などを狙い撃ちできる次世代の薬「抗体医薬品」。政府の新年度予算案に25億円が盛り込まれ、5年以内に新薬開発の技術を確認することを目指す、というのです。

1月に見た新聞にも「ガン細胞を狙い撃ち」の記事が出ていたので、一部分だけを書き留めておきました。

ガン細胞だけを狙い撃ちして破壊する先端技術「ホウ素中性子捕捉療法」が本格的な普及に向けて動き出したと。どちらもガン細胞の狙い撃ちの治療ですが、実用化がされるようになれば、ガンを患っている人には大変な朗報になる筈です。

ガンは治るようになり、再発・転移・辛い

後遺症等は、もう心配しなくてもいい日が必ず来ると信じ、ほんの少しだけ先回りをして、未来の医療に感謝をしたい。

花の咲く季節の春はもう間近か、ガンで泣く人なんか誰もいない、そんな希望の持てる心の春が1日でも早く訪れてきてくれますようにと、期待を膨らませているのです。

群馬でもリレー・フォー・ライフ (RFL) 命のリレー

根岸 利光

2013年10月12日(土)12時~13日(日)12時の24時間、群馬県総合スポーツセンター(ふれあいグラウンド・サブアリーナ)で「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013ぐんま」が開催されます。

ひまわりの会が誕生した32年前には、がんは不治の病でした。がんと告げられることなぐ大手術が試みられ、闘病も悲惨を極めたとお聞きます。

日本では、2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなる時代です。しかし、

がんの治癒率は年々高まり50%を超えるようになりました。中でも、早期がんの治癒率は85%を超えるそうです。脾臓がんのように見つけにくく、治療しにくいがんも残っていますが、がん制圧の取り組みは、着実に前進しています。

がんという病気の制圧には、社会全体で取り組む必要があります。2006年に、がん対策基本法が、2010年暮れには群馬県のがん対策推進条例ができました。群馬の条例は、すべての県民に「県民の疾病による死亡の最大の原因となっているがんに対して正面から向き合い、互いに支え合いながら、がんに負けないという強い信念を持って、安心して暮らすことができる群馬を目指(そう)」と呼びかけました。

リレー・フォー・ライフはがんに負けない社会をめざす、がん啓発サポートキャンペーンです。がん患者やその家族、支援者らが公園、グラウンドを24時間リレーしながら歩き通すことで絆を深め合い、がん対策などのための資金を生み出そうと年々盛んになってきました。

資金を生み出すための試みは沢山編み出さ

れています。ルミナリエはその一つ（語源はイタリア語でイルミネーションの意）和風に言えば、七夕の短冊を行燈に書き込んだようなもの）です。夕闇迫る会場にルミナリエが灯り、治療中のがん患者の思い、がんで失った命への追想、医療提供者や沢山の県民のがんに対する願いが浮かび上がります。参加者とルミナリエを提供した沢山の県民の熱い思いが伝われば、「互いに支え合いながら、がんに負けない（で）安心して暮らすことができる群馬（群馬のがん条例）」の言葉に命が宿ります。

ルミナリエは日本対がん協会から必要な数だけ無料で提供されます。このルミナリエを、例えばワンコイン（500円）でご協力頂ければ、100個の運用で5万円の募金に繋がります。そしてそれは100人のがん征圧にかける思いや願いを集めることでもあります。

長い歴史を持つひまわりの会員のみなさん。私達は現在の会員さんのお力で、大事な方々をなくした経験をお持ちの元会員さんのご家族のみなさんや、会には入っていないが、お知り合いのがん患者さんなどに働きかけ、ご無理にならない範囲でルミナリエの普及に

ご協力し、リレー・フォー・ライフを盛り上げようではありませんか。

**ひまわりの会が
「保健事業等功労者知事表彰
健康増進（がん予防・がん対策
推進）部門」を受賞しました**

ひまわりの会の創立以来、30年以上にわたってがん征圧運動に貢献してきた功績が認められ、「保健事業等功労者知事表彰 健康増進（がん予防・がん対策推進）部門」を受賞しました。北爪会長が会を代表して授賞式に出席し、賞状と記念品を受け取りました。



賞状と楯



群馬県庁正庁の間にて



グリーンドーム前橋にて。がん患者団体連絡協議会に所属する他の患者会のみなさんと。

活動紹介（後期）

がん征圧共同キャンペーンに参加

平成24年10月27日、恒例となったグリーンドーム前橋での「がん征圧共同キャンペーン」で、検診によるがんの早期発見・早期治療の大切さを、来場者に訴えました。

第2回がん患者団体作品展

「がんと向き合う作品展」に参加

平成24年12月7日～8日、群馬県庁1階県民ホールにおいて「がんと向き合う作品展」が開催されました。

前回から、群馬県がん患者団体連絡協議会に所属する患者会の皆さんで参加することになった作品展に、ひまわりの会の会員さんからもたくさん作品出展がありました。

作品点数は80点近くジャンルも多彩で、テレビや新聞の取材もあり、にぎやかな作品展となりました。



テレビ取材の様子



「保健事業等功労者知事表彰」受賞

祝賀会並びに平成25年新年会を開催

平成25年1月21日、群馬ロイヤルホテル9階ロビールームにおいて、恒例の新年会に併せて知事表彰受賞の祝賀会を開催しました。15名の会員と、健康づくり財団の職員とで和やかで楽しいひと時を過ごしました。



新年会後の記念撮影。「今年もよろしくお願いいたします。」

新 会 員 紹 介

深澤 那津江さん（高崎市）

金田 成一さん（高崎市）

お く や み

今泉 行雄さん

今井 忠夫さん

謹んでお悔やみ申し上げます

一
緒
に

活
動
し
て

み
ま
せ
ん
か

本会の活動にご賛同くださ
る方々のご入会をお待ちし
ています。

ひまわりの会事務局

（群馬県健康づくり財団内）

電話〇二七

（二六九）七八二

